



ふるゆくせりーよ、さむでんあくのえふよ

れのうちよあくもふるせとくとくうのことを
もじめありふくーとみことをよづらゆるもの
これによつてくーなどくおやうのひととくとくしてこれを
きらくよゆきのせーゆゑよ、³ くまときてよぢろよ、² これも
もトめよりすぐのことをくもくあくべくねば、⁴ あざのと
あーとこれとあくぢよゆきねり、あくぢをくとねーとさ
うのあととをあくせんとねゆくり。

ゆだやのこくへてのときあびやのくみよせかりやとりぐる
さりーあり、そのつぶんあらんのあらんのむすめをとあをえりせ
ばとりふ。あくりともかこのあくよくとくき ゆのよてかけ
あくかこのすぐのねきひとのりよあくべくとあゆめり。
えさせばもととあくよよれてかれとよあー。あくのとーも
あくねりくり。

8 ときすがしてせめりやそのくみの 焼ゆゑよあぐりと まくらの
 つとめをかみのまへよおこあふとき。さうのあともとよあく
 ゲひくドとひまたかみのふやよりゆうとくことをえり。
 10 われゆうとくあひどおあせりのひとびとくそとみてりのり
 をれり。11 さてかみのつうひゆうだんの みぎようちてせめりやよ
 あともれ けれど 12 せめりや これをして うとうへおそれり。
 13 つうひゆれよりひけり、せめりやよ、おもむくあられ、あんちの
 りのりんきうれり、あるぢのつまえせばむすきをうすん、その
 あをよはねとあぐくべー。14 あるぢよようとびくのーとあともん、
 あるおもくのひともそのうおもくよよりてようとせん。15 われん
 きみのあくよおもひあるものとあともん。あくぶどうーのとせう
 ちうとのむおト、ほこのきのあいよりきよきみくすくよ みくす
 れん。16 あくいきらえるのあをふとおあくそのかみあるきみよ
 やくとせん。17 われんえりやのきーうとちうとをゆけてきみの
 さきよゆきとちうのこううとあじゆよもうとせ、もとれるものと
 もれりふことあくわすト。

21 ひとびとせめりやをあらてそのひきくみやのうちよをゆ
 とあやーみくり。22 われりぞーとき ゆれりふことあくわせり
 けれど われとそのみやのうちよてあともれと さくふと さと
 れり。われひとびとよておねーておもひとおめー、つゆおふ
 ーとあれり。23 そのつとめのひきくみよおふびとおのれの
 つゆよ やくりふり。

24 そののちそのつまえりせぼもとと、めぐれをることりく
きよしてりひけり、²⁵かとされをめぐらしひとびとのうちよ
めぐれをもうぐせさゆふとせんめぐるのひととくされよあせり。
26 むうすよあめりててふのつうひめぶりたるかみよつうをさ
れとあざれとりくるが里うひのうちよて²⁷だびでのりくのよせふと
りふゆのよりひあげけーなるきむすめよりくれり。そのきむす
めのあんまりあとりふ。²⁸つうひりりきくらりとめれよりひけり、
めぐく、めぐるるゆのよ、きとあるがとともよりくす。「ある
ぢんちんのうちよとさりむひあるものあり。」²⁹まりあそび
ことぶといがりて、このあいがくへあふごとぞゆとおゆくり。
³⁰つうひめねよりひけり、まりあよ、おをくもあられ・あるぢん
かとよりめぐみとえくり。³¹もよ、あるぢんとくとむすあを
うすえ・そのあとゑととあぐくべ。³²われんおおひあるものと
あり、ゆりともくうきゆのむきあととあくぐれえ。あるぢん
あるきみそのせんぞだびてのえトわとめれよあくわげ

³³ めぎり あくやこぶのりくとおほせん。そのあうりだと
をもることあー。まりあつうひよりひけり、なれりよきと
こよゆうざるよりうでこのことあくねや。³⁵つうひこうくとりひ
けり、まよきみくよあふぢよくうり、ゆりとくくうきゆの
ぢうじ あんぢをねうせん。ゆゑよ うおうとくうのきよき
ゆのひかみのむきあととあくぐるべ。³⁶もよ、あるぢのあん
きのえさせぬとーねりとむきあとをためり、ゆともととあき
ものとりもれくるをふあいよもとみてすゞよむりきあり。
³⁷そんかみよおうじへあくもざるところあきあり。³⁸まりありひ
けり、まよのこーゆとあるこねとみよ あるぢのりくふり
がとくよれよあれと。ちんのつうひつりよめれともあれされり。
³⁹そのころまよりあくらとすみやうよやおぞとよゆきゆだの
あらよりうりむせりあのりくよりりとえりせばよありきうせり。
⁴⁰えさせばまりあめりがくとせんーとせよもとみおそのくり
ありみておどれり。えさせばまよきみくよみくうれそ⁴²おみ

さゑよ よびりひけり、あんぢんをゐきの うちみて さりをひ
あるものあり、からあんぢの さりありよ みのれる ところの
ものもさりをひあり。43 さり さりのほ されよ さるよとひ これ
りうあることだや。44 さよ、あんぢのありさうのこゑ さり さりよ
りりーとき さり さり おふろとびて さりありよ おどれり。45 あん
せーをひ さりをひあり、そん かみの かみり さみひー ことに
のあとすある べければあり。46 こくよ ねりと まりありひけり、
さり こくらひ きみと くらめ、47 さり さあしりへ さり すくひゆー
あるかみを すうとぶ。48 それ、その こくととのりやー まゆめ
りと さみひ ゆゑあり。49 おり オリのち ゆうげ おもぐも
ひとびと されと さりをひあるものと とあふづ。49 つうりき ある
もの されよ おみひある ことと あせり。その あひ きくく、50 その
あもれ みれを おもるゝ ものよ おも おもむえ。51 かれは その
うを ものそ ちらと あとをー、こくらひ わざれる おもひ ある
ものを ちうす。52 けふる ある ものへ さる おりおうー、りやーき

ゆのひ うれを あけ、53 うゑくる ものひよき ゆれよ あうせ、とめる
ものひ うれを むあーく かへとせ さあふ。54 かれ かれと せふ
ぞよ いひ さみひー ごとく、55 あぶらはむと その あもんと かぎり
あく あもれむ ことと おがくと その あもべいせらるを くすけ
くすけり。56 まりあえさせばと さうき せうりと ゆよをりて ねのれの
りくよ やくれり。

57 えさせば まぐよ うせ とき さうて むすみを うめり。58 さて
とありびと あふるの めのかみの おみひ ある おひと えさせばよ
あトモー さすふ ことと まくと かれと ともよ ようと ぐり。59 やうう
めよ あくりて かれと ささあおよ かわれりと おと あもんと そ
きうり その ちの あよ あうぐひと うれと せかりあと あげけふと
せーよ 60 その ほく こくらひ さりひけり、りあ、よはねと あくく
づ。61 かれ さりひけり、あんぢの あふるの うちよ ここの あを
つけー ものあー。62 つりよ て あねーと その ちよ めれを あかと
あげくうと おのすうと とひーよ 63 せ ありあ せ せり くと もとめて、

そのあんよはねありとめきければかれとあこれとあやしめり。
 64 さてせめりあのうちわどらよひとけ、ふるゆゑことをも
 ものへとかみをわめく。65 そのゆよりよすとゆくものもあ
 ねそれとあやうす。わらすべてこのことをああねくゆだやのやあ
 さとりひらめくれければ66 まくものもあこれとこううよ
 とめそ、そのあんりうあるものもあトんやとりぐり。かみのても
 われとともよありき。

67 そのちくせめりあまよみくよみくよみくよれおけふとてりひ
 けふい、68 いせらえるのまことあるかみにわせづきう。そのたまを
 めぐりみてあぐめひをあーとあくべあり。69 めれもじめより
 きよきおけふいやのうちよよりそりひくまひーごとく70 こね
 とてまのとおりまくひりがーとひちやうぐのまくまとくどー
 きとよおれでおれあくかみのあくよつとむることとをせし
 めんとのまよまやくそく、72 まももちせんぞあぶらはむよまそー
 とくちのちうひをこせねずーと73 こねのせんぞくちよめぐ

うとわどらー、74 こねとすくひとてま おとび まぐと こね
 とをあくむゆのとてよりりがまんとて 75 こねのくめよ
 ゆのつむをそのあくびだびてのりくよふとくまくへり。76 こね
 ああよ、あくぢんゆのとあくまきゆのとおけふいやととあくと
 れん。77 そんあくぢんまみのまちをそあくんくめよわねよまき
 まちゆきと 78 こねとのかみのあくま あくねまよよりつまを
 ゆふまかれてまくねれんことをそのたまよもとすべー。そのあくね
 まよよりてあくひのひくりくじまとちのゆくよするものを
 てまー、79 こねとのあーをやすぐりあるまちよ まちびうえ
 まめようへよりなれくよのぞめり。

80 めくとをさあおやもそがちこまろそくやうまーと いせらえ
 るよあとをまみのひよをれよをれり。

第一章 そのこうよあくりててんらのひとびととあふぐのす
 るのみことのりせいざるあうべとよりりがく。2 そのふん
 ぐのことくこれにおさりあのぶぎやうマリーとまよおとあるれ

しげもじめあり。³ひとびとみあふるべくよのせうれんとて
おの物のそのふるきとよせくらうり。⁴よせふゆだびてのりく
あるやすぢのものあればそくめるそのをふくとくのまりあと
ともよふるべくよのせうれんとめよせうりのむとあざれより
りぐく。⁵ゆだやよのせうれんとめよせうりのむとあざれより
れり。⁶とせすがとくまよをるうちようせときとちければ
うひおをうとこれをつまよあがとそくせけよあきせくり。⁷そん
はくどくよのれとのをるべきとそろあうりよよりてあり。
⁸そのとうよひのトうひありければせうくとくらそのむね
をもありゆくらしよ。⁹かみのつうひそのあくよくもせう
かみのえりううわれとをめぐりてくられればゆくものどくねう
ひよおそれり。¹⁰つうひわれとよりひけれ、おなましあうれ.
ミよ、これがんみんよかみよりうるおわひあるよろくびのおと
げれとあんぢよつけん。¹¹けふだびてのあらよおりとあんぢ
とのくめよすくりみーあるきみきりもとむあれくまくらり。

¹²あんぢよつまこあうれらるをきあがのそくせけよあーをくと
えん。これあんぢよあうーとあくえん。¹³くまつまちおなまのてん
ぐえあとせれつうひととくよかみとさんびとてひけくれ、
¹⁴ゆりとくまくまとくまよかみよえりうう、ちよひおざやう、
かんけふみれあぐとあれよ。
¹⁵つうひくちわれととあれとてんよのせうれんとひのトうひ
さぐのよりひけくれ、ひきべてとへむよゆきとかみのくめー
くまくらとくらのありーことをくらべ。¹⁶つゆよりをきゆきと
せりあとよせああらもくをけよふくらるそどりがよくじねあくり。
¹⁷われとこれとこそこのをきあがよつきおのれとよおめきれ
とくらのことをりひひくめよ。¹⁸きくゆのまひひのトうひの
ゆくわるとくらのことをあやーめり。¹⁹くまよりあらきじとくね
とのこくとくまよとあておもひめぐくとくね。²⁰ひのトうひ
どくそのきくとくらまーとくらとくああめきれことの
さくとくあくよよりかみをあくめかくわめをくくれり。

²¹ もせきあがよひくれりをねこあふべきやううのひうちければ
 りゆざ さりありよやどとせらる さきよてんの うひの とあく
 ごとくその あを あ告とあげけり。²² もうせの ねまくよ あくぐかで
 きあめのひうちければ、²³ もじめよ むするし きとこのあいかみ
 ぬそあゆる ゆのと とあくぐれると さみの ねまくよ あくぐれさる
 さとく さきあがむ かまよ さくびん さめ²⁴ あく さみの ねまくよ
 さとくとひとうぐひ あらひに さくきりくをと かをと そあゆべ
 とりくる さとく これと さく げん さめよ かれを つれて あらきむよ
 のがれり。²⁵ その とき あるきをむよ あめおんと とりくる ゆのあり、
 このひとく さだ一きの あらぐらふうき ゆのよーと いせらえるの
 あぐきめとれん さとく あち あく うりしげ さく うき みく あ かれと
 とくよ がれり。²⁶ あく かれん かみの きりあと さる あぐれ あよ
 りくら あドと さく みく みくよ あ内と あめがれり。²⁷ かれ みく す
 よ あんト て みゆよ ひりよ²⁸ あく あや さく あお あまよ ねまくよ
 あく あーを おこ あまく さめよ これと さく げきへと ひり かれば

²⁹ あめおん これと ひだり かと あめと ひひけり、³⁰ さく みよ、
 いは ああくら みと とがよ あらぐひ こな ああくら と やすぐらよ
 すと さとく あめ さあよ。³¹ さく あめ すとよ あら みよ あく
 くあひー すくひを みくり。³² これ ひト ふと てとす ひうり あく
 あくの たと いせらえるの さうえ あり。

³³ その ちと はくら さく あがよ つりと ひくと ねー ことを あやー
 あり。³⁴ あめおん かれと ひくと その ほ ま おりあよ ひひけり、
 みよ、この さく あがへ いせらえるの うち おあくの ひとの さく
 と おあくの ひとの さめ、あく そーく あとよ さく さく。³⁵ これ
 おあくの こくらの おもひ あともれなぐ さめ あり。あく つまぎ
 あんぢの こくらを サー と あがん。

³⁶ あせるの ぞく べねえるの むすめよ あんあと とりくる とーおり
 さる さる あ よけん 一 や あり。かれん さく すめの とき とくとよ
 の あく あらねんの ありよ とくよ がれり。³⁷ いは おふそ そく ト う
 あくの やもめ ありしげ みやを まあれ どる ひる さく ト あと

りのりとあして かみよつらへり。⁸³ そのときこのをんあむゆ
そとよきなりを かみよおやし、めりあるさをむみて あぐあひを
のぞめるすべとのひとよこのをくわおのこととを めくれり。

⁸⁴ われト かみの おまくとも あくべくそ すべとの こととを そそり
ければ せきふひの おのれの あちあまれよ めくれり。いをくあお
やくそそりとすくやうより、あゑそらを かみのめぐみ めくと
とくよありま。

⁴¹ そのあくめやへ とくじとすがまーの あくりよ あるさをむへ
のがれり。⁴² あきの あくふきりの とく あく あくの あくもーよ
あくぐふと がりしげ ⁴³ ひそらを めくりけくよ こくらぶ あきら
あやあゐさをむよ とくおれり、されど あくめやへ これをおくす、
⁴⁴ えちうげれの うちよをる あくらと おもひりらふちぢを のまく
あくらりと あくべの ものよ うげめれど あきぎりければ、⁴⁵ こねを
うげねうも あるさをむよ せくれり。⁴⁶ ひと とく みのりめよ、あきの
みやるて がくーゆどもの あくよ さーと かれじよ まく めくとく

あくさよあへり。⁴⁷ きくもの まもその まとまと その こくへとを
あやへり。⁴⁸ あくあや これと そく おどりま、はし めれよりひ
けむり、ももあよ、あんぞ これとよかく あせへや・まよ、あんぞの
ちくと これうれひて あんぞと うげねくり。⁴⁹ あき こくへけむり、
あんぞ これと うげねへや、これへ こく ちくの とくうよをる べ事
をあくざむら。⁵⁰ されど われどん その めくりー ことををまと
ぎりき。⁵¹ つひよ あき あくあやと とくよ うびり あれよりひりと
われじよ あくぐひ をれり。その ほくら すべと これの ことを
こくろよ とめくり。⁵² あき ちゑゆ その うけゆ りや あして
かくの めぐみと ひとの りくまーみを ます あも うけくり。

第三章 て べりおめいさるの くじるよ つりて より あくとねんめよ
ほんとおびうせんゆだやの あがめうづり、へろでん せきふひの くく
くく くく、その まやうびの せきほん ひとりあと てうこにての ちの
こくく くく くく、るさにあん あびきねの こくく くく、あんあせと
めやを せりーの せき くく くく とま かみの ことば せよ おりと

せめりあのもまおよはねよくざれり。めれよるだんのわとりある
すばらのちよりざりと、つみのゆきのくめよくいあとうめの
あげめをのべつまへり。これよけふいやえきやのことをの
ふきよ、¹⁴ けよよぶひとのこゑあり、りそく、きみのまちを
そあへ、そのどうくをもとまゆすぐよせよ。¹⁵ すばらのたわ
うげめとれ、すばらのやまちうへさひとげとれ、あがりまゆ
まゆすぐよ、けもとま そちへやすとうよせとれ。¹⁶ ひとびとれ
そあかきのすくひをもることをえんとあゆまれまゆぐどとー。
よはねあげめをうけふとそめれよきくねるおなせりのゆのよ
りひけふれ、あむしのもとふよ、されりあんぢよきくとふと
するみのうりをさくらふととつけーや。¹⁷ うのあとうめよめあひ
さるみをむすぐよ。あんぢよこくうのうちよ、これのせん
ぞよあぶらはむありとりふあられ。これあんぢよつけん、
かくらこれとのりしおあぶらはむのあをふとあーうるあり。
のあやそめりきのねよつけとねり。よきみとむすぎざる

きれことごとくきくねをものありよあけりれづるゝあり。
¹⁰ ねりせりのひとびとよはねよとくをりひけふれ、さくら
せれとあふをあすべまう。ほくろくをりひけふれ、うそきあゆの
あるものへあきものよせけあくよ。あくよくあるもの
ありすべー。¹² そくびとりゆあげめをうけふとそまゆりりひ
けふれ、せんせりよ、これどいあふをあすべまう。¹³ これよりひ
けふれ、さざおりくるきくぎのわうへとるあられ。¹⁴ へりそくゆ
せれよとくをりひけふれ、これどいあふをあすべまう。ほくろくを
りひけふれ、ひとをねびやうすあられ、あるあひうりくふる
あられ、あんぢよのきくりやうをされりとせよ。

¹⁵ ひとびとあちをるときあれどそあくまうよよはねんきり
まとあくやいあやとせんぐくまりよ ¹⁶ よはねめれとよめくまりと
りひけふれ、せれとあんぢよとしげよあげむる。されどこれ
よりひまわひあさるものさくまえ。せれとそのさうりのひゆを
とくまゆくまゆ。せれいあんぢよとまくまきみくまおあびゆ

おげめ さあさん。¹⁷ その てよ こを あら よく その うちを と きよ
めを もぎと くじよ をさめ、めトを まくざる めよを やき さあ
さん。¹⁸ よはね あらわ おわくの ことと すくめを あー、あう
しと ひとびと よきの おとづれを のべつへぐり。¹⁹ こう
しゆ へろで きやうざりの つお へろでの ことと その おこあら
さる すばらの あーき ことを よはねよりきめられければ ²⁰ あらわ
あーき ひきと くもんと よはねを らうやよ りれり。

²¹ すばらの ひとびと うげめを うけーげ 無患も ある おげめを
うけそりめる とき てん ひとけ ²² きよき みくす まと の どとき
ゆうちよと その うくよ うざれり・あく てん あり こゑ ありて、
あらわ ひき ありする む生あ、ひき ようとぶ ところの もの
ありとりへり。

²³ 無毛 きーくと 木ドメーん とー おふそ さんト うの とき あり
しげ ひとびと おもかよ よせふの ももお ありと・よせふん へり
より うなれ、²⁴ へり まいたて あり、まいたてん きび あり、きびん

めるき より、めるきん ゃんあ より、 ゃんあん よせふ より、²⁵ よせふん
また であ より、 あた であん あもむ より、 あもむん あはむ より、 あは
むん えむ と あり、えむん あがい より、 あがいん まあて より、²⁶ ま
てん まいたて あり、まいたて あん あめい より、 あめいん よせく より、
よせぐん よだ より、²⁷ よだれ よああん より、 よああん かれ あり、
れきん ぜる ばべる より、ぜるばべる あやる てら より、 あやる てらん
ねり より、²⁸ ねりん めるき より、 めるきん あで より、 あでん ときむ
より、 こきむん えむ もだむ より、 えむ もだむん えむ より、 よらむん まいた
て より、 まいたてん きび より、²⁹ きびん あめおん より、 あめおん あ
ゆだ より、 ゆだれ よせふ より、 よせふん よあん より、 よあん えりあきむ
より、 えむ あきむん めき あ より、 めき あん めん あ より、 めんあん まいた
て より、 まいたてん きび より、³⁰ きびん あめおん より、 あめおん
より、 まいたてん あたん より、 あたん だびて より、³² だびてん あさい
より、 あさい おべて より、 おべてん ばあむ より、 ばあむん さる もん より、
さる もん ああよん より、³³ ああよん ああみだぶ より、 あみあだぶ

あてみんあり、あてみんりあるねいあり、ある叔いんへづるんあり、へづるんれをれづより、をれづれひだより、³³ゆだらやこぶより、やこぶれいさくあり、いさくへあぶらはむより、あぶらはむにてらんあこるより、³⁴あこるへせるべより、せるべりりうより、りうへべきべより、べきべへそべるより、そべるへせふより、³⁵せふへかいんより、かいんへあるをくでりあり、あるをくでりせむより、せむのあり、のあんをめくより、³⁶せめくめとせふより、めとせふへのくあり、へのくへやれでより、やれでりまはうきるより、まはうきるへかいんより、かいんへのくめとせふより、めとせふへのくあり、あだむかとより。

第四章 無す きよみ みきよ みくされと よるだんより やくり、ある みくすよ みくびうれしよ ゆきと おとうあち ざんきよ こううそとれり。³⁷そのあひどあひどくとも半、これとのひもうてのち うゑ さすへり。³⁸ざんきめねよ いひけり、あんちゅうかきのむすああうば このいーのほんとある やうよめりせよ。

「無す こうへそりひけり、ひとはんのまよそりまよそとある
きれり。」

つひよ ざんき 無をと「こうき やまよ」つれゆきめをくきの
あよ ぢんうの くわぐわと そせそりひけり、³⁹それこのすべ
そのけんゐとその そりそととあんぢよあくへん、そんこれきれよ
ゆきねとれとれべ そげ わけする ところの ゆのよ これとある。⁴⁰
「ゆゑよ あんぢよ それと はりせば ことどとく あんぢの ゆれと
あとん。⁴¹ 無を こうへそりひけり、あんぢの かみくる きみと
はりへそり そげ われよの そつうふ べーと あるきれり。
○ ある きをと あらきをむよつれゆきみやの いとくせよ こうへそ
りみけり、あんぢよ かみの むすああうば あんぢの そそ
おりあげねとせ。⁴² そん、けれあんぢの きめよ その つうひくちよ
めりドと あんぢを あもうせん、⁴³ われと あんぢの あーの いーよ
あれざる やう てよそ あんぢと さくへんと あるきれり。⁴⁴ 無を
こうへ けり、あんぢの かみくる きみと こうへそり べうト半と

りをねり。 ¹³ やくふかす すべもの こゝろみを せまりて おもづく
われを せあねり。

¹⁴ おもみきの ちうとを もので せましよ かへりよ その
まくえああねく あまりの ともよ ひろがり。 ¹⁵ わねは その
うきのじうみて しーくを あー せぐもの ものよ うりと あれり。 ¹⁶ わねは その
うきのよその そむかなる とくろ あれより うりの どとく
あるぞく おちよ うきのじうみて よおふと くら けれど
¹⁷ よげんや おさやの ふみを あくへどる。 その ふみを ひととて
あく あくみかれる とくろを みり たり。 ¹⁸ りもく、かみのみき
已れより あす。 そん あけーき ものよ さじまひの ねとげれを つま
くこと と されよ あがトを そしきと あんド さあくべあり。 わね
されを つうとせーい せめーうどよ ゆくみかれる こと と めく
とよ みせんことを つけしめ、 ¹⁹ わくおさへとく ものを そあち、
まみの さのーき とーと のべひうちーめん さめ あり。 ²⁰ つひよ
あみを あまこれと みくの ものよ せまーと ざーけれど くきり

どうよをる もの まめと とめと かれと みくり。 ²¹ おもむれとよ
りひけり、 この おもむかれる こと おもひけふ あんぢとの きくよ
とけり。 ²² ひとひと まみかれの くめよ あらーと とそ かく その
くちより ひぐるめぐみの ことを あやーみと ひけり、 これ
よせふの むすあよ あとすや。 ²³ おもむれとよ ひけり、 あんぢと
めあとす されよ この こと ときざと ひそん、 ひしゆよ、 さくうとと
りやせ。 これの きくーこと すあもち あんぢか める あうむよを
あせーこと と あみと ある この とくろ もあせよ。 ²⁴ あくひひ
くあひけり、 され あくとよ あんぢとよ つけん、 うげんと やい
その あみと とすと うげん ものよ あとす。 ²⁵ され あくとと
もれと あんぢとよ つけん、 えりやの とき いせらるの うらよ おる
この やめめ あり けふげ さんねんむくまの あひと てん とぢて
くあぢう おあひ ある きくえん ありーうど ²⁶ えりやの その ひとり
おも つうを きれす、 さく しとんの ざれを も おも やめめ ある ひと
りの おもよ つうを かれる のと。 ²⁷ あく よげんや えりやの

ときいせみたるのうちよおかるのらひびらうやとあり一うどその
ひとりぢやまふめられず、ふゞせりあのああんのまきふめられ
たり。²⁸ くさりどうよをるものこのことをまことまおかるひよ
りうり。²⁹ まちてあすをまちありねひりがー、まちのうちよる
やおのがけよつれゆきそめれをあはねとまんとせり。³⁰ あら
くよあすめれとのあうをとわりてさりさり。

³¹ つひよめりういのまちかをるあうむよくやりてあふをく
あちよをへへけるよ³² そのことだけるあるよありひとびと
そのをへくよおどろきなり。³³ うきりどうのうちよあけうのあく
まのまよとりくらねくるものありしげおもごゑよさけふを
りひけふ、³⁴ あまあざれのゑをよ、これトああまとああめう
もりあづるや。これトとわうがすまめよきくまく。これああ
さんこれあるとある、すあともちかみのきよきものあり。³⁵ あを
られをとぐめて、ざれ、めれよりりぞふとひくまひければ
あくまそのひととあんあうよさかーまキつけずしてりぐさり。

³⁶ さてひとびととあおどうきうきひよめうりそりひけふ、
これりうあることをぞや。けんあとちうとをゆいそあけつの
あくあよめのトけねばあくおりぐさり。おこよおりそゑきの
きえああねくあもりのとらよひうありさり。

³⁷ あをくちくうきのどうよりりをあんのりくよりりけふよ
あんのあうとめねゆきねりとくげトひをれり。ひとびとめねの
くめよゑすよねびけねば³⁸ あをちらくくちくねりとくげめ
しらべねりさめ、をんあくさくちよおきてめれじよつうぐり。
⁴⁰ ひくよとまきさくせきのやまひとくげトふものともぐる
ひとびとこれをゑまよつれきくりければりちのちでをその
うくよつけてこれといふ一々あぐり。⁴¹ あくあもおかるのひと
ありりでし、ああくいかみのむまおありとさけびければゑを
られをとぐめてそのゆめりよことをゆきくさりき。めれト
ゑまくさり生とあるをあればあり。⁴² そのあくらとまきゑを
いぐさむ一きとくよのきければおかるのひとびとくづね

きたりて めれと より とあれ さあをざる やうよ めれを とどめ
ふり。⁴³ 無を りひ けむ、⁴⁴ それへ わうの まちよも かみの まくり
ごとの さりそひの おとづれと りひ ひうむ べき あり。 えぐ つうを
きれいへ・その さめ あり。⁴⁵ つひよ ゆだやの さきのどすと
せりきやうせり。

第十五 ときすぎと おろせりの ひとびと カミの ことを きらん
とて おーあひけよ 無を けねされ の 三げうきの カとりよ まくらを
りそよ あそうの あね あらを そそり・ すあどる もめん あね おり
りそと あそと あらひ せり。 ⁴⁶ その いのそうへ おもんの あね あり
しき 無を これよ のり こくと きー あり まくら いがまーせ。
つひよ ざーと あねの うち あり おろせりの ゆのよ をへ こす
くり。 ⁴⁷ そーへ そそりと 志もんよりひけむ、 あらき とくろん
りと あそと おろーと すあどれ。 ⁴⁸ おもん こくくと りひけむ、
せんせのよ、 せれと しゆすぐと もくと まくーうと あらの えゆけゆ
あらりー。 されど おふこと ぞよ あらうぐふと これ あそと おろせん。

° さて あそと おろーと さうあを めくせ こと もあそば オろく、
あそ さけううり ければ、 わうの あねの さゆづらを あねまく、
きうり さすけふと ねぐへり。 めれと きうりと さうあを あそうの
あねよ さくーければ あね あらげ あんと せり。 ⁴⁹ おもん べて ころこれを
みて あそひの ひざゆとよ ひれあし そりひけむ、 きくよ、 されより
もあれ さくへ、 せれへ つまびと あり。 ⁵⁰ され、 おもん おふび とあよ
そりーもの さあす あらひー ところの さうあひの おび まくーあよ
おどろきうら あり。 ⁵¹ 志もんの とある せべだいの むすお わこぶと
よはね もく おどろきうら。 無を おもんよりひけむ、 おをくも
あられ。 ⁵² しよ あり あんぢん あんげんを すあどら べー。 ⁵³ めれと
あねを まくよ つけり けくのを すくと 無を あらうぐへり。
¹² ひを へと 無を ある あらよ あくおひー とき めくと うら
びやうと やめる ゆの ありー う 無を そそ ひれあー ねぐへと
りひけむ、 あそよ、 ゆー みだくうよ あそば せれを きくよ
する こと ど うべー。 ¹³ 無を てきの ぐ めれよ さりもと、 こぐ こく

ちよ めあふ、あんぢきまく あれとのまおひければらりびやう
さむぢよめれよりされり。¹⁴ 無をめれをりおしめてりひけらひ、
ひとよつぐる あられ、さゞ ゆ事と そげんとを さくへよ させ、
めら あんぢの きまめとれー さめよ もうせの らいせー どとく
そあへ むれを さくへて ひとびとよ ああうとを あせると。¹⁵ 無り
れども あすの まくえ ますをひろおりて おあくの ひとびと そー¹⁶
んを きま あゝ やすひを いやする さめよ あつおりきまれり。
のち あを おまーき ところよ ありがまを いのり さあくり。

17 どう すがとて あを ある ひをくと あせーり せりふいの むト
むト ねよび ゆだや、あぬきむ より きまりする せり せりびと
きやうを あー めくとよ ざー をれり。あうも やすひを いやす
べき きみの ちうと あくとれり。¹⁸ さて まよ、ひとびと ちう
年を やめる ものを ねどとよ のせと せま まみり、¹⁹ これ うちよ
りれ あをの あくよ おうふと おもへども おあせりの さめよ
うちよ いふと ことを え、つひよ やねよ の行り めをとを せり

のぞき ねどとおの まよ あんあうみて あをの あくよ これ つり
おうせり。²⁰ 無を めれと あふうを みて やめる ものよ いひ
けるへ、ひとよ、あんぢの つと ゆるきれり。²¹ あくよと せり
いびと ろふト そドめて いひけふへ、この けぐす ことと いふ
ものへ これぞや。かみの わらよ うれり つとと ゆふす ことを
えんや。²² 無を めれと おもひを さとりと こくへ いひけふへ、
あんぢと こくの うちよ あふと ろふすら。²³ あんぢの つと
ゆるきれりと ひ あもひん おまと あみけと いふへ いづれり
やすき。²⁴ それと あんけふの ももあせうりよ おひと つとを ゆふ
すの けふる ある ことと あんぢとよ あとうせんとす。つひよ ちうき
やまよ むうひと、これ あんぢよ つぐ、おまて ねどとを とりりく
よめくねと いひけねば ²⁵ めれ さむぢよ ひとびとの あくよ さむぢと
その あー るる ねどとと とり かみを わめと おのれの いくよ
めくりくり。²⁶ ひとびと とお おどろきと かみを わめめく おあひ
よおそれと、これ とけふ あーき ある ことを そむりと くくり。

²⁷ こののち あをりびと りくら そつぱとりの そくび
 やくーよ ざー そるを そく、これよ ふるぐくと りひ けねば
 りのくと すと おき、そちと われよ あらぐくと りひ けねば
²⁸ さめよ おのれの りくよと おわひある あらかひと あうけり。そく
 ぎとり おあび とゆよ せんよ つまくらる ものゆ おあく あうけり。そく
²⁹ せりきいびと その あらゆどゆ でーくらよ むろひ つぶやきて
 りひけむ、あんぢと みづきとり おあび つと ある ものと とゆよ
³⁰ くひのミ するに あんぢや。³¹ あを こくくと りひけむ、すくや
 ある ものんりーやよ よう あー、ふだ やめる もののと よう あり。
³² こぐ きくらりーへ くじーき ものを あねく さめよ あとす、ふだ
 つと ある ものを あねきと うの あじきめ させん さめ あり。
³³ われト あもよ ひけむ、よはねの でーん あをーば がん
 トキとりかりと あす、せりきの ひとゆ ある ふくり、ふだ ある
 ちの でーのと くひのと するに あんぢや。³⁴ あを ひく さおひ
 けむ、 ああむとの とゆだら そあむこと とゆよ ある あひど

あんぢと われトよ さくとト さする ことと えんや。³⁵ されど
 ああむと われト より さくとくの ひ きくとえ、その とゆよ
 がんとき すべー。

³⁶ あら くとくを ゆりて のくまひけむ、あらーーき さくねを
 きりとり それむと あらき さくねを つくしよ もの あー。ゆー あら
 せば あらーーき さくねと さくねと あり、あら あらーーき より
 とりくる さくね あらき さくねと あをざる あり。³⁷ あら あらト
 しき あらーーゆを あらき ゆを くらよ いき もの あー。ゆー
 あらせば あらーーき あらーーゆ あらきを そり さく、あらーーゆ
 ゆれ いき あらき やがる あり。³⁸ ふだー あらーーき あらーー
 ゆの あらーーき ゆを くらよ いき ゆー べー。³⁹ たれむ あらき
 ふどうーゆを のみて のち あらーーき あらーーゆを のぞむ もの
 あー、あらせば あらよ おーと うべー あり。
第六章 「だい あねの もじめの」 あんをく あらよ あを むぎをく
 けを とある とお でーくらむぎの わを つと てうそ ゆく くとひー